



元気とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2023年01月23日 第1102号「週刊五十嵐レポート」

米IT企業、人員削減

1月22日付、日経新聞「米IT人員削減、3万人超に」という記事。

米テクノロジー企業による人員削減が続いている。グーグルはグループ社員の6%にあたる12,000人を削減すると発表。「過去2年にわたり事業の急成長に対応するために採用を加速したが、経済環境が変わった」とグーグルCEOは社員にメールで説明した。新型コロナ下で進んだ社会のデジタル化に対応、社員を急速に拡大したが、現在反動が出ている。

(下記は日経記事より試算)

社員の推移	19年	22年	増加	削減	現在(見込)	単位:千人
メタ(旧FB)	48	84	+36	-11	73(19年比152%)	
マイクロソフト	147	221	+74	-10	211(19年比143%)	
グーグル	116	186	+70	-12	174(19年比150%)	
合計	311	491	+180	-33	458(19年比147%)	

人員削減するとしても、社員数は19年比で約5割増加しており、コロナ禍におけるデジタル化の急拡大を物語っている。米IT業界では臨機応変に対応し、攻める時は攻め、引くときは引く。トップの決断になる。こうしなければ、世界では生き抜いていけないのだろう。また一部の人材を変動費としてみている。

日本の小さな会社の場合、成長期に急拡大してそのまま順調に経営をできる会社はあるだろうか。ないとは言えないが、多くの会社が途中で頓挫する場面を見てきた。人の問題と資金の問題である。採用したが人が育たない。各部署がバラバラに動き、統一性がない。思ったより成果が上がらず資金が足りなくなるなど。成長と膨張は違う。

大企業には人材はいるが、小さな会社には少ない(いないと言ってもいい)。小さな会社は潰れないためには、地道にコツコツと成長していくのが望ましいのでは。大企業と違い、人もなかなか来ない。その中で自社で教育して育て、戦力にしていく。決断力も大事だが、忍耐力が必要。

ちょっと
気になる出来事

1月17日付、朝日新聞「コロナ3年人生が変わった」という記事。在宅勤務により妻への不満が離婚になった話が書かれていた。しかしよく読んでみると、関係が悪化した夫婦ばかりではない。明治安田生命が22年秋にアンケートを実施した結果、夫婦仲が良くなったと答えた人は、**29.2%**。夫婦仲が悪くなった人は、**10.4%**、変わらない人は、**60.4%**。つまり、良くなった人が悪くなった人の約**3倍**。良くなった方が断然多い。理由として、①一緒にいる時間が増えた。②コミュニケーションや会話する機会が増えた。③一緒に食事する頻度が増えた。人間関係を良くするのはこの**3つ**なのだろう。これは会社内でも活かせる。リモートの時代だからこそ、人と会って一緒に時間を過ごしたり、食事をしたり会話をする。もう一度、足元を見直すことができた。



一口メモ
知識

一闔一闢(いっこういっぺき)

一闔一闢(いっこういっぺき) これを変(へん)と謂(い)い、往来窮(きわ)まらざる、これを通(つう)と謂(い)う。

変通窮(へんつうきわ) まりない易の理(ことわり)を、一枚の扉にたとえている。

ある時は閉じ、ある時は開く。これを変といい、窮まることなき往還を表す。そして、このように物事が変化していくことを通という。変わることによって物事は通じていく。

戸を闔(と)じて充電し、活動のエネルギーを養うのが陰の「坤(こん)」。戸を開(ひら)いて外に向かって積極的に活動するのが陽の「乾(けん)」。

開いたままでも閉じたままでも、物事は通じていかない。人の生活も同じである。夜は家の戸を閉じて休み、朝には戸を開いて出かけていく。

何でもない日常のことであるが、そうした休息と活動という陰陽の作用が、大きな変化と成長のエネルギーの源となるのである。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

